

甲斐市議会建設経済常任委員会会議録

1. 開催日時 平成27年11月2日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（6名）

委員長	赤澤厚君	副委員長	池神哲子君
	清水正二君		米山昇君
	山本英俊君		藤原正夫君

欠席委員（なし）

傍聴議員（7名）

議長	有泉庸一郎君		五味武彦君
	小澤重則君		斉藤芳夫君
	三浦進吾君		内藤久歳君
	保坂芳子君		

説明のため出席した者の職氏名

建設産業部長	飯室崇君	都市計画課長	輿石春樹君
整備係長	中澤一昭君	農林振興課長	下笹俊彦君

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	武川訓	書記	山岡広司
書記	有野恵里		

内容

1 塩崎駅アンダーガード改築工事及び平成27年度市発注工事の進捗状況について

(都市計画課)

2 その他

開会 午後 1時31分

○委員長（赤澤 厚君） 改めまして、こんにちは。

午前中からご参集いただきまして、大変ありがとうございます。午前中は内容のある会議に皆様方にご協力いただいて、実のある会議になりましたことに感謝を申し上げます。

これからまた、所管の課から説明していく中で、慎重審議していただきますので、今後とも午後引き続きでございますけれども、よろしく願いいたします。

ただいまの出席委員は6名でございます。定足数に達しておりますので、これより建設経済常任委員会を開会します。

○委員長（赤澤 厚君） 本日の会議を開きます。

本日の委員会は、お手元に配付した次第のとおり進めたいと思います。

また、質疑は委員の質疑を受けた後に、傍聴議員の質疑を受けたいと思います。

なお、傍聴議員の質疑は、さきの申し合わせのとおり会派の割り当て人数により行い、質問は1問とし、再質問は1回までとします。

それでは、これより次第3の内容に入ります。

1番の塩崎駅アンダーガード改築工事及び平成27年度発注工事の進捗状況について、担当より説明をお願いいたします。

興石都市計画課長。

○都市計画課長（興石春樹君） 午前中より引き続きまして、大変お疲れさまです。

それでは、都市計画課から1件の報告をさせていただきます。

資料の1ページをお願いいたします。

塩崎駅アンダーガード改築工事及び平成27年度市発注工事の進捗状況についてということで報告をさせていただきます。

初めに、アンダーガード改築工事の進捗状況についてですが、私のほうで概略の説明をさせていただきますまして、資料の3ページから6ページにつきましては、後ほど担当の係長より詳細の説明をさせていただきますので、よろしく願いをいたします。

前回の7月の常任委員会で説明をさせていただきました親杭（H鋼）の打設工事につきましては、12本全て完了し、平成27年10月20日現在、線路敷を変動させないための受桁・工事桁設置工の鋼管柱の打設工事を行っております。鋼管柱は、線路下の掘削時に線路を支える桁の基礎となるもので、円筒状の鋼管柱を夜間施工にて打設をする工事であります。前工程の親杭（H鋼）打設に当たりまして、地中内に昔の鉄道施設と思われる間知石積及びコンクリートの床板が発見され、その撤去と杭打設を並行して施工したところでございます。

現在施工中の鋼管柱打設工事においても、地中内で間知石積が確認され支障となっており、この撤去作業がふえたことから、親杭、鋼管柱の打設工の工程に日数を要することとなりましたが、全工程に影響しないよう工程調整を行い、工事施工をしている状況であります。

また、工事施工に伴う地元からの要請により、騒音、安全対策等の対応をしたところではありますが、上記支障物撤去作業を含め、これらの費用につきましては、現在のJRとの施工協定の中に含まれていないため、今後、協定額を増額変更する必要が生じております。

増額変更につきましては、現在JRにて工事費の積算を行っておりますので、積算の書類が提出されましたら、その内容を精査するとともに協議を進め、協議が調い次第、議会にご説明をさせていただき、施工協定の増額変更をお願いする予定であります。

続きまして、平成27年度市発注工事の進捗状況でございます。

まず、発注契約済みの工事でございます。

①としまして、南口送迎用一時駐車場・駐輪場整備工事、平成27年8月17日に完成をしまして、8月24日から使用を開始しております。

資料7ページをお願いいたします。

工事の場所でございますが、この図面の一番下の茶色い部分になります。面積にしまして638平米を借用して整備をしたものでございます。

8ページをお願いいたします。

こちらが現在の現況の状況の写真でございます。上のほうの着工前の①が着工前の状況で、①完成後ということで、これが北東側、県道側から見た状況でございます。②番、やはりこれが北西側から撮った写真の状況でございます。

整備の内容でございますけれども、普通車が5台と軽自動車2台の一時の駐車場と、あと奥のほうにバイク、自転車が見えますが、現在1日平均バイクが約30台、自転車が約70台くらい置かれているという状況でございます。

1ページへお戻りいただきたいと思います。

②としまして、北口広場の擁壁工事、工事概要でございます。L型の擁壁据えつけでございます。高さが1メートルから3メートルの擁壁をLイコール18.5メートルでございます。工期につきましては、平成27年7月31日から平成27年11月20日まで、請負業者は有限会社有泉土建でございます。工事場所につきましては、後ほどまとめて説明をさせていただきます。

続きまして、③の新町山本線上下水道管布設工事、工事概要でございますが、下水道管の布設Lイコール72メートル、マンホール5カ所、配水管の布設Lイコール80メートル、消火栓が1カ所。工期としまして、平成27年7月31日から平成27年12月18日まで、請負業者は有限会社光本興業でございます。

2ページをお願いいたします。

今後の発注予定工事ということで、④番、南口駅前広場駐輪場整備工事、10月下旬入札ということで、先日28日に入札が行われまして、請負業者につきましては、株式会社中村建設に決定をいたしました。

工事概要でございますが、駐輪場の上屋ということでLイコール27.32メートル、29.12メートルの2棟を建設する予定でございます。自転車ラック177基、工期につきましては、平成27年10月30日から平成28年3月25日まででございます。

⑤番としまして、アンダーガード排水施設整備工事（第1期）、10月下旬入札ということで、この工事につきましても28日に入札が行われまして、請負業者につきましては、株式会社高山建設に決定をいたしました。

工事概要でございます。排水管Lイコール20メートル、マンホール3カ所、仮設工といたしまして鋼矢板の打設でございます。工期につきましては、平成27年10月30日から平成28年3月25日までであります。

⑥番、南口駅前広場整備工事（第1期）ということで、11月下旬の入札を予定しております。

工事概要につきましては、既存自転車置き場の撤去工、既設構造物の取り壊し工、コンクリート擁壁Lイコール26メートルでございます。工期につきましては、着工日から平成28年3月25日までを予定しております。

それでは、7ページをお願いいたします。

ただいま説明をさせていただきました工事箇所の図面になります。

まず、②番目になりますが、塩崎駅北口広場の擁壁工事ということで、図面の上のほうの

右側になります。Lイコール18.5メートルの擁壁を施工するという状況です。

続きまして、3番です。ちょうど図面の真ん中に細長く番号が振ってある場所でございますが、新町山本線上下水道管の布設工事ということで、県道から塩崎の駅のほうに入る部分でございます。

4番目としまして、図面の右側になりますが、南口駅前広場駐輪場整備工事という状況でございます。

5番につきましては、左上です。北口になりますが、アンダーガードの排水施設工事ということで、この場所を施工する予定でございます。

最後になります。ちょうど真ん中になりますが、6番ということで、南口駅前広場整備工事ということで、南口のロータリーの部分になりますが、この工事施工を予定しております。

それでは、9ページをお願いいたします。

一番最後のページになりますが、この写真が現在の塩崎駅の南口と北口の状況の写真でございます。上のほうが南口の県道から駅のほうに向かって写真を撮った状況でございます。ちょうどこの重機が置いてあるところが、今現在工事をしている上下水道の布設工事の場所になります。

下が北口の状況になりますが、白い防音壁がありまして、その左側、若干口が開いていますが、ここが現在アンダーガード、歩行者が通行をする箇所でございます。

あと、その左側にやっぱり現在重機が置いてありますけれども、ここところが今現在発注している擁壁工事を進めている箇所になります。

以上、簡単ですが、私のほうからの説明とさせていただきます。

続きまして、アンダーガードの詳細について、係長のほうから説明をさせていただきます。

○委員長（赤澤 厚君） 中澤係長。

○整備係長（中澤一昭君） それでは、私のほうからお手元の資料に沿って説明させていただきます。

3ページをお願いいたします。

アンダーガード改築工事の進捗状況でございます。先ほど課長からも説明がありましたが、改めて図と写真を用いて説明をさせていただきます。

昨年11月29日に車両全面通行どめの規制をかけまして、工事に着手しました。3ページの左の図、写真です。真ん中に逆T形の橋台が2つありますが、この間が着手前の今までの

アンダーガードの道路幅であります。この現道のアンダーガード内にステップナンバー③番、歩行者が南口北口を行き来できるように、仮の通路を設置いたしました。

続けて、ステップナンバー4番、横矢板を打って、アンダーガード内の空間部分を土で埋める埋戻し工を施しました。

続きまして、右隣、真ん中の図になります。

ステップナンバー5番、既存ホームの撤去を行い、支保工組み立て式の簡易ホームの設置をいたしました。

次に、土どめ仮設工に入りまして、杭打ち機を搬入しまして土どめ工、ステップナンバー6番、下に写真もあるんですが、写真のとおり鋼矢板の打設を行いました。

ページを1枚おめくりいただいて、4ページの上の図をごらんください。

この図は、上から、空から現場を見た図になっております。上側が南口、下側が北口という位置になっております。四方から線路を囲むように凹凸が連結している箇所が示されてまいります。こちらが鋼矢板を打設した位置であります。この段階でも一部の箇所で支障となる石とコンクリート板が当たり、その撤去をして打設を行いました。

3ページにお戻りいただきまして、続いてステップナンバー⑦、線路を支えていた既設の構成桁、これを撤去、外しまして、土で線路を安定させる、もたせるための床づくり、これは有道床工というんですけれども、そちらのほうを施しました。

続いて、ステップナンバー8番、この後、線路内からの工事に必要な通路を設置いたしました。

3ページの右の図をごらんください。

受桁・工事桁設置工、ステップナンバー9番です。仮橋台・仮橋脚・親杭打設とありますが、先ほど課長のほうからも説明がありましたとおり、線路を変動させないため、安定させるため、線路を支えるための親杭（H鋼）12本と鋼管柱9本の打設作業であります。

先ほどの4ページをもう一度ごらんください。

この図は左側が甲府方面、右側が韮崎方面となっております。青字のHと示してある箇所が親杭（H鋼）打設の位置であります。黄色の八角形で示している箇所、こちらが鋼管柱の打設の位置であります。親杭打設は完了してございまして、現在、鋼管柱の打設を5本が打ち終わりまして、6本目の打設中であります。

この親杭、鋼管柱打設の作業工程の中で、想定していなかった支障物、間知石積とコンクリート板が地中内に発生しました。昔の鉄道施設だったと考えられ、図の横に赤く色塗りし

である2カ所が間知石積、また、縦にピンクの色塗り部分が厚さ50センチのコンクリート床板が埋設された箇所となっております。この撤去作業と杭打設作業を繰り返したことから、不測の日数を要してしまいました。

下の図は、線路を輪切りにして見た断面図であります。

レール天端から60センチ下がった地点に支障物が発生し、その下、約3メートル付近まで石積が隠れておりました。

5ページへお進みいただきまして、発生しました支障物の状況の写真でございます。

写真の1番、低空頭杭打機というんですけれども、こちらを使って地中を掘り起こしまして、写真②のとおり石を除去してから杭を打ち込みます。③番が、ちょっと写真が見づらくて申しわけないんですけれども、こちらが発生しましたコンクリートのスラブの現況の様子、厚みの様子です。また、写真の4番、こちらの写真はほんのその一部ですが、撤去した石とコンクリートがらの様子となっております。

ページを1枚お進めいただきまして、6ページをお願いします。

こちらの写真は、夜間作業の様子です。ごらんとおり線路内の施工ということで、電車が運行している時間帯は作業ができません。終電が夜の0時08分に通過し、その後作業にかかります。写真のとおり線路の構内に重機を搬入しなければならないのですが、それには北側の上り線ホームを外して、その都度ばらして重機、資材を入れ込んでおります。

そして、写真5番、先行掘削をして、写真6番の杭打設を行っているところでございます。この施工中にも、夜1時30分ごろから貨物列車が4回通過しますので、約1時間は作業を一旦中断しなければなりません。そして朝、今度は始発電車が6時07分に通過するわけですが、それまでにまた重機を引き上げ外に出して、⑦番、ホームを復旧して線路構内を細かく点検をして日常の駅に戻し、その日の工程が終わります。

現在、この工程をほぼ毎晩繰り返しているところでありまして、1日の実質の夜間作業時間、写真の5番、6番を施工する時間は、1日3時間から4時間ほどしかできません。このような工程ですので、現在施工中の仮設工には手間と時間と労力を費やしているところであります。

すみません、3ページにまたお戻りいただきまして、この後、薬液注入工を経て、そちらの図に示してありますとおり12月中旬の、ステップナンバー11、受桁・工事桁設置に向けて、今後も日夜工事を進めてまいります。

以上で、進捗状況の説明とさせていただきます。

○委員長（赤澤 厚君） 説明が終わりました。

委員より質疑がありましたらお願いいたします。

質疑ございますか。

藤原委員。

○委員（藤原正夫君） アンダーガードのことで確認ですけれども、親鋼を打設工事のときに、報告書にありますように、地中内から昔の鉄道施設と思われる間知石積が出てきたということで、これから今の説明だと対応的には工事もおくれ、なおかつ費用もかかるということで、今JRのほうで見積もり、積算をしているということですが、土の中にあるものですから、そんなには工事前にはわからなかったということは感じるんですけれども、そうはいいまして、本当に何百年も前ということではなくて、鉄道施設であればある程度JRのほうでもそういうことは把握はしていなかったんですか。その点、ちょっとお聞きをしたいですけれども。

○委員長（赤澤 厚君） 中澤係長。

○整備係長（中澤一昭君） お答えします。

発見された、発生した場所は線路敷地内ということで、JRのほうでもその件に関しては想定外だったというふうな報告は受けております。

○委員長（赤澤 厚君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） わかりました。その部分については想定外だということで。

今からその見積もりをして、甲斐市側のほうにどれだけの予算がかかってということで議案説明をし、協定の変更、増額の変更ということがあろうかと思うんですけれども、大体これはいつごろの予定ですかということなんですけれども、12月議会、それか来年になるのか、その点はまだ報告は来ていないわけですか。

○委員長（赤澤 厚君） 興石課長。

○都市計画課長（興石春樹君） 現在、JRのほうで積算、どのぐらいふえるのかなという計算をしているんですが、私たちのほうとしてはできるだけ早く議会のほうに報告をしたいということで、できれば12月という考えはあるんですが、ただ、JRのほうの動きによっては3月になる可能性もあるのかなということで、できれば年度内には必ず報告をさせていただきたいという予定でございます。

○委員長（赤澤 厚君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） 確認したらそれはそれでいい、工事のおくれというか、そういうの

には中澤係長、支障はないわけですか。取り戻したというか、そういう考えでいいですか。

○委員長（赤澤 厚君） 中澤係長。

○整備係長（中澤一昭君） 当然ながら、ここで不測の日数を費やしたという部分があるんですけれども、今後の工程の中で調整はしていくという今、打ち合わせになっております。先ほども図面の3番で示したとおり、12月の中旬に工事桁をかけるに当たって、鋭意現場のほうも努力して、そこはおくれがないように調整はしていくというところでございます。

○委員長（赤澤 厚君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） そうであれば、こうは言っても、余り急がず慌てずということで、今問題になっていますマンションの旭化成ですか、そういうことがあります。あれも原因の1つは受注が多過ぎて人手不足あるいは工期が間に合わないということで、そんなことも原因かと聞いております。そこで、鋼板打ちはあれなんですけれども、この工事にはそういう支柱を埋めるという工事はないわけですか。いわゆるH鋼を打ちますよね、このとおり。建物じゃないのであれですけれども、そうは言っても真ん中に支柱を打つという方法はないわけですか。そののところがちょっと確認で。

○委員長（赤澤 厚君） 中澤係長。

○整備係長（中澤一昭君） お答えします。

当然、杭打ちをしているわけですので、建物と線路を支える内容的にはちょっと違うところがあるんですけれども、杭打ちをしているという部分、工程は一緒です。これは、詳細設計の段階でJRコンサルタントが地質の調査をかけておまして、その結果、データに基づきまして支持層を算出して、その支持層まで届くよう杭打ちのほうはしております。

○委員長（赤澤 厚君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） 今の説明、ありがとうございます。

JRのほうで支持層までちゃんと確認をするということですから、しっかりしたデータが残るんじゃないかと思えますけれども、その点は市としても、細かくまたちゃんとした監視の目で見たいと、こんなふうに思います。

以上です。

○委員長（赤澤 厚君） 要望でいいですか。

○委員（藤原正夫君） はい。

○委員長（赤澤 厚君） そのほかございますか。

清水委員。

○委員（清水正二君） 間知石が見つかって、杭打ちが3月までには工程的にはつくということなんでしょう、杭打ちの期間というのか、それが住民にも説明したというふうなことがここにあるんでしょう、住民のほう、杭打ちの夜間、深夜にやるもので、そういった住民のほうからの苦情とかそういったことというのはないですか。大丈夫ですか。

○委員長（赤澤 厚君） 興石課長。

○都市計画課長（興石春樹君） ここでも説明をさせていただきましたが、日中はどうしても工事ができないものですから、夜間、電車が通らないときに工事をさせていただいております。そんな中で、やはり当初は通常の施工をするに当たって、周りの人たちが簡単に入れなような防護壁の形態をしていたんですけども、やはり夜中にやるということで、近所からの要望もございまして、防音壁の設置を現在はさせてもらっています。それで対応を今はしているということで、定期的に近隣の方のところへ顔を出して、状況等も確認をした中で、その防音壁をしてもらってから大分違うよというようなことも聞いております。

以上です。

○委員長（赤澤 厚君） 清水委員。

○委員（清水正二君） 騒音とかということの問題だと思うんですけども、その辺のところも住民の方たちの納得を得ているということですか。

○委員長（赤澤 厚君） 答弁を求めます。

興石課長。

○都市計画課長（興石春樹君） 先ほど、今、議員さんが言ったとおり、やはり当初は低い通常の壁でしたから、音がやっぱり夜中に上のほうから漏れるというようなことがありまして、できれば防音壁にしてもらいたいという地域の要望によりまして、3メートルの音が余り外へ出ない防音の専用というか、そういう特殊な壁に変更を今現在はさせてもらっております。

○委員長（赤澤 厚君） よろしいですか。

そのほかございますか。

よろしいでしょうか。

[発言する者なし]

○委員長（赤澤 厚君） ないようですので、委員の質疑を終了いたします。

これより傍聴議員の質疑を許します。

傍聴議員、質疑ございますか。

五味議員。

○議員（五味武彦君） 金額がわからないと言うんですけれども、全くわからないわけがないと思うんですよ。ある程度アバウトな線で金額の表示はできないんですか。このくらいかかるんじゃないかというのは。いかがでしょうか。

○委員長（赤澤 厚君） 興石課長。

○都市計画課長（興石春樹君） JRのほうもやはり大分慎重になっていまして、今現在計算をしているということで、細かい数字のほうは私たちにも報告はまだ受けておりません。

○委員長（赤澤 厚君） 五味議員。

○議員（五味武彦君） 例えば、私は100万なのか1,000万なのか、こういうところ辺のアバウトな数字なんです。この辺もまだわからないということですか。1億まではかからないでしょうけれども、この辺はどうなんです。発表できなきゃしょうがないんですけれども、いかがでしょうか。

○委員長（赤澤 厚君） 興石課長。

○都市計画課長（興石春樹君） 議員さんに、今私たちもわかれば報告をさせていただきたいんですが、まだちょっとその数字はつかんでおりませんので、話によると大分かかるよという話は聞くんですけれども、その辺の細かい数字をきちっと出してくれと、議会に報告できるような数字をきちっと出して協議をかけてくれということで、今計算をさせていますので、よろしくご理解をお願いしたいと思います。

○委員長（赤澤 厚君） 内藤議員。

○議員（内藤久歳君） これの負担金については、全額市で持つのか、あるいは補助金とかそういう関係があるのか、その辺の負担の仕方についてはどうなっているの。

○委員長（赤澤 厚君） 興石課長。

○都市計画課長（興石春樹君） この工事費につきましては、市のほうで持つ格好になります。ただ、国からの補助金の、市道拡幅を含めてアンダーガードも国の補助金の対象になりますので、この部分については国の補助金の対象になります。

○委員長（赤澤 厚君） 内藤議員、よろしいですか。

内藤議員。

○議員（内藤久歳君） 対象になるということで、新たに市の財源の中から出すということがあるのか、ないのか、その辺は。

○委員長（赤澤 厚君） 興石課長。

○都市計画課長（興石春樹君） 国の補助金自体は100%の補助じゃないので、マックスで

50%の補助金の工事の申請をしていますので、若干は市からの半分は持ち出しという部分は出てくると思います。

○委員長（赤澤 厚君） そのほかございますか。

三浦議員。

○議員（三浦進吾君） 杭の件ではないんですけども、1番の南側の駐車場ができて利用しているんですけども、これは期間とか金額はどのぐらいで借用しているのかお尋ねしたいと思います。

○委員長（赤澤 厚君） 中澤係長。

○整備係長（中澤一昭君） 一時駐輪場、駐車場の借用の関係なんですけれども、期間はアンダーガード改築工事が完成するまでを予定しております、30年3月末、29年度末までを一応予定しております。また、単価のほうですけれども、平米単価で約2,300円というような単価で借用の契約を結んでおります。

○委員長（赤澤 厚君） 三浦議員。

○議員（三浦進吾君） できれば計算して金額を幾らと言っていただければ、計算機がないからわからないんですけども、例えばこれが終わったということがございますが、終わった場合には原状復帰でお返しするんですか、それともそのままお返しする。その辺をちょっとお聞きしたいと思います。

○委員長（赤澤 厚君） 中澤係長。

○整備係長（中澤一昭君） 契約満了後、これは一応地権者の方とまた折衝の上、地権者の意向も踏まえながら、復旧の方法については検討させていただいております。当然、地権者がもとの形に戻してくれと言え、当然それはまた原状復旧という形でお返しをしなければなりませんし、現況のままという話であれば、その分そういった内容を精査した中で交渉の席に、テーブルに着こうというふうに今考えております。

○委員長（赤澤 厚君） そのほかございますか。

[発言する者なし]

○委員長（赤澤 厚君） ほかに傍聴議員の質疑がありませんので、質疑を終了いたします。

以上で、塩崎駅アンダーガード改築工事及び平成27年度市発注工事の進捗状況についてを終了いたします。

次に、都市計画課からその他の報告がありましたら、お願いいたします。

[発言する者なし]

○委員長（赤澤 厚君） 次に、委員より都市計画課関係で特にお聞きしたいことがありましたら、お願いいたします。

ありませんか。

〔発言する者なし〕

○委員長（赤澤 厚君） 以上で、都市計画課関係のその他を終了いたします。

ここで暫時休憩し、職員を入れかえを行います。

休憩 午後 2時04分

再開 午後 2時05分

○委員長（赤澤 厚君） 会議を再開いたします。

内容2番、その他について議題といたします。

それでは、農林振興課からその他の報告の説明を受けたいと思いますので、よろしく願いします。

下笹農林振興課長。

○農林振興課長（下笹俊彦君） こんにちは。

午前中の棚田等の古文化保存協会との意見交換会、ありがとうございました。

農林振興課では、指定管理につきまして甲斐市コミュニティーホール双葉及び双葉集出荷所の管理運営について、口頭によりご説明させていただきます。

甲斐市コミュニティーホール双葉と甲斐市双葉集出荷所の施設につきましては、平成18年4月1日より指定管理者導入施設として管理してまいりましたが、指定管理導入検討委員会により、公の施設ではなく指定管理制度になじまない施設との結果により、行政財産から普通財産としての管理を検討してきたところであります。

また、9月18日の決算特別委員会におきまして、両施設は平成28年度より指定管理施設から除外していくと報告させていただきましたが、甲斐市コミュニティーホール双葉は、梨北農業協同組合双葉支所の2階にある多目的集会施設で、地域住民の福祉向上と相互の交流を促進し、農村地域振興を図ることを目的としているため、指定管理期間を3年として指定管理制度を更新していくこととなりました。

また、甲斐市集出荷所につきましては、決算特別委員会で報告させていただいたとおり、

指定管理導入検討委員会の結果により、梨北農業協同組合の営業施設で公の施設ではないため、甲斐市集出荷所条例を廃止して普通財産として1年ごとに梨北農業協同組合に貸し付けていく方向となりました。

なお、現在、指定管理は無料で管理運営をしているため、今後においても無償での貸し付けをしてまいります。今後、梨北農業協同組合と協議を進め、施設の譲渡処分の検討をしてまいりたいと考えております。

以上で、指定管理施設の運営管理につきまして、ご報告をさせていただきます。

なお、12月定例議会にて、コミュニティーホール双葉の指定管理更新と双葉集出荷所の条例廃止についてご審議いただくこととなりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

以上です。

○委員長（赤澤 厚君） 説明が終わりました。

この件については、先ほど課長のほうから申したとおり12月議会の提案になりますので、質疑は省きます。

それ以外に農林振興課に皆さんのほうから特にお聞きしたいことがありましたら、お願いします。

清水委員。

○委員（清水正二君） 午前中に棚田の保存会とあれしたんですけれども、その際に、クラインガルテンの事務所が使えるというふうなことで話したんですが、そういったクラインガルテンが今指定管理になっていて使えるということと、たしか中に何か事務局みたいなものを置きたいというようなことがあったんですけれども、クラインガルテンのほうでそれを取り入れるというと、そういった形の中で何か障害になるようなものというのは、何かあるんですか、そういった場合。

○委員長（赤澤 厚君） 下笹課長。

○農林振興課長（下笹俊彦君） きょう午前中、堀内会長のほうから棚田保存会のホームページなんかをつくって、それを受ける場所がなかったというふうなことで、今まではきょういらした副会長のヤマモトケンジさんという方が事務局長を前はしていたんですが、その自宅が一応受け口になっていたんですね。それで協議を重ねる中で、市長ともお話をする中で、何とか問い合わせになった場合の受ける、常時いただけていないかということで、クラインガルテンができればななんていうお話だったんですが、それで現状とすれば、棚田保存会のホームページの所在の住所をクラインガルテンの事務局の住所に置いて、電話番号

もそこになっておりますので、問い合わせが来ます。それで来た場合には、クラインガルテンの事務局長等が対応していただいておりますが、特に支障はなく、また、棚田保存会からクラインガルテンの事務局のほうにお金を払うとか、そういったこともなく、お互い橋でつながっています。まだちょっと供用は開始していないわけですが、両方の施設にとってプラスになるというふうなことで、そんなふうなことで現在対応しているところです。

○委員長（赤澤 厚君） 清水委員。

○委員（清水正二君） クラインガルテンは指定管理者ということでもって、遊農をやっていますよね。そういった中で双方が合意すればそういうふうなものが、協定みたいなもののできるのか、それとも市のほうでもって、そういうふうな何か障害があって、市のほうが仲立ちしなきゃいけないのか、そういったものというのは、今の段階では厚意的でもってやってもらっただけけれども、嫌だって言われれば形としても残しておかないとあれだと思っただけけれども、そういうところはどうなんですか。

○委員長（赤澤 厚君） 下笹課長。

○農林振興課長（下笹俊彦君） 協定とかはないわけですが、例えばきょうもお話があったように、東京の新生銀行が女子行員が30人、40人来てやるにつけては、バスでまずクラインガルテンへ来て、そこでバスでおりると。それであとは着がえをしなきゃなりません。そういったものを済ましてくると。それで、昼食についても逆に、クラインガルテンのほうで、今はちょっとお休みをしておりますが、うどんとかあるわけですし、おにぎりに合わせてそのうどんも食べていただいたりというふうなことで、相互連携がとれていますので、所管とすれば農林振興課の所管に両方なるわけですので、市のほうからクラインガルテンのほうに交渉もしたり、もちろん棚田保存会のメンバーの方たちもクラインガルテンの人たちとは懇意にしておりますので、そういう話を一緒にしたというふうなことで、今の状況にはなっております。

○委員長（赤澤 厚君） よろしいですか。

その他ありますか。

[発言する者なし]

○委員長（赤澤 厚君） ないようですので、以上で農林振興課関係のその他を終了いたします。

引き続き、次第4のその他に入ります。

委員よりその他、何かありましたらお願いいたします。

ありませんか。

[発言する者なし]

○委員長（赤澤 厚君） 次に、事務局からその他がありましたらお願いいたします。

有野書記。

○書記（有野恵里君） すみません、連絡をさせていただきます。

次回、12月定例会前の常任委員会を11月27日午前10時から予定したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

○委員長（赤澤 厚君） よろしいですか。11月27日午前10時から委員会を開きますので、ご出席をお願いいたします。

以上をもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、建設経済常任委員会を閉会といたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 2時14分